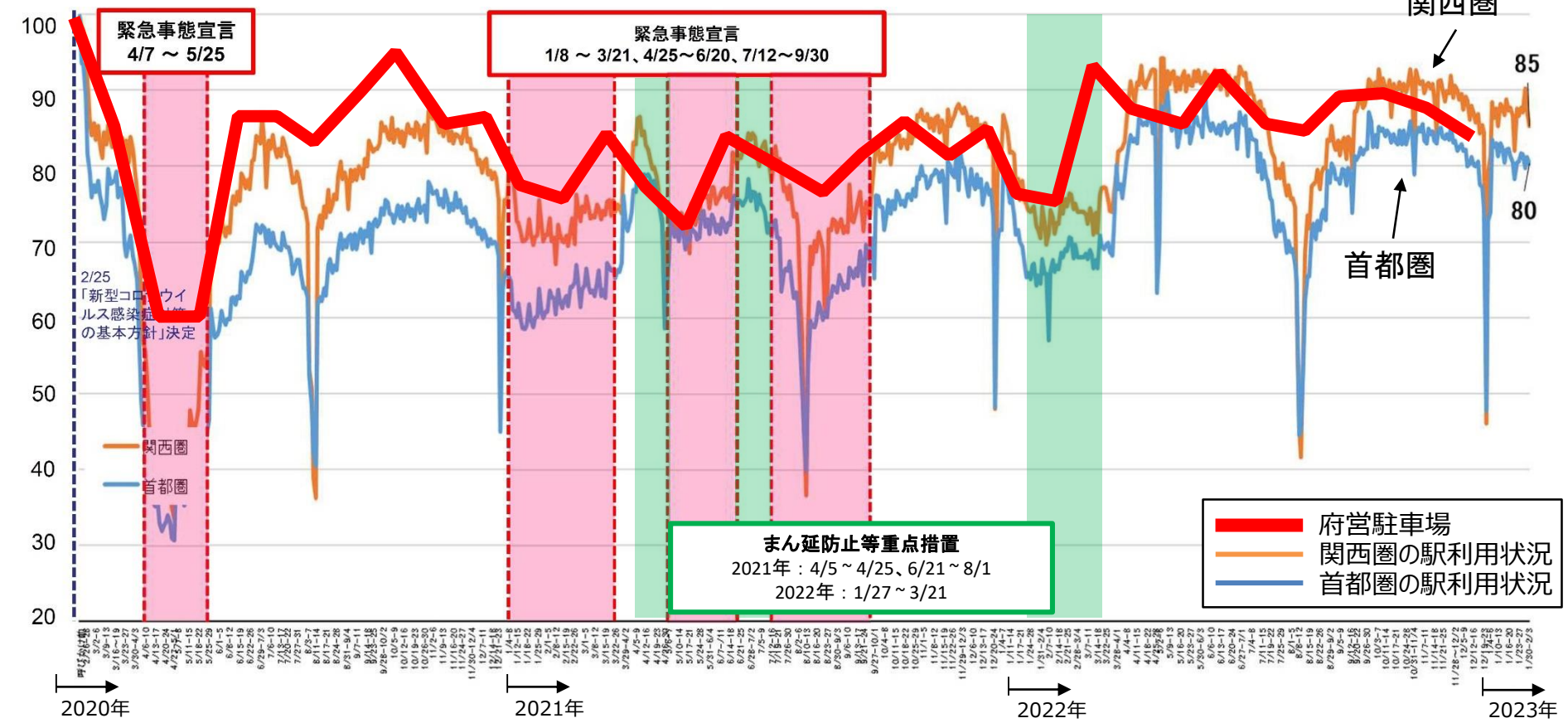


駅の利用状況、駐車場の利用状況



【駅の利用状況の出典】国土交通省

【駅の利用状況】
 ※JR（JR東日本、JR西日本）、大手民鉄（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神）の主なターミナル駅における平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値
 ※数値は、呼びかけ前を100とした場合の指数
 ※「呼びかけ前」は、2月17日の週の特定日
 ※ピーク時間帯は、各駅において7:30～9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯
 ※主なターミナル駅は、以下のとおり
 首都圏：東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜
 関西圏：大阪・梅田、京都、神戸三宮、難波、京橋

【駐車場の利用状況】
 ※府営駐車場の利用状況は、令和元年の同月を100とした場合の、当該月の指数（2駐車場合計）

新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化

参考資料 6

	駐車場	周辺駐車場の利用状況 (公共駐車場)	人流の変化
江坂	91% (85%) 〈89%〉 2019年：112,185台 2022年：102,195台 (2021年：94,770台) 〈2020年：100,322台〉	—	(大阪駅) -21.8% (-35.6%) 〈-30.2%〉
茨木	79% (74%) 〈78%〉 2019年：83,369台 2022年：65,532台 (2021年：61,876台) 〈2020年：65,140台〉	88% (84%) 〈87%〉 2019年：95,858台 2022年：84,123台 (2021年：80,134台) 〈2020年：83,053台〉	(梅田駅) -14.4% (-29.6%) 〈-25.6%〉
備考	2019年同時期の 利用台数 を100%としたときの2022年の利用状況を表したもの ※右の()内は2021年の利用状況を表したもの ※右の〈〉内は2020年の利用状況を表したもの	茨木地下駐車場周辺に位置する、茨木市営駐車場の利用状況 (JR駅前ビル駐車場・JR茨木北駐車場) (2022年利用台数/2019年利用台数) ※右の()内は2021年利用台数/2019年利用台数 ※右の〈〉内は2020年利用台数/2019年利用台数	2022年8月31日15時台「 平均人口 」の2019年同月比 ※右の()内は2022年2月1日15時台のデータ 〈〉内は2021年2月8日15時台のデータ 平均人口：各時間単位ごとに、どれくらいの人が平均して対象エリアに滞在していたかを表す値 【出典：株式会社Agoop「新型コロナウイルス拡散における人流変化の解析」】